

事務事業名	健診(検診)事業		所属部局	保健福祉部		単位番号	5194																												
			所属課室	健康増進課		課長名	櫻田正文																												
	☐ 実施計画事業		所属担当	健康づくり担当		担当者名	斉藤美穂																												
基本政策	基本計画体系	IV	快適で心のかよいあう都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目																								
		18	健康づくりの推進		01	一般	04	01	04	020	04																								
政策		31	保健・医療の推進	事業区分	☒ 国の制度による義務的事業 ☐ 施設等維持管理事業 ☐ 県の制度による義務的事業 ☐ 補助金交付事業 ☐ 市の制度による義務的事業 ☐ その他の事業 ☐ 義務化されている協議会等の負担金																														
施策																																			
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 H15 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)			法令根拠	健康増進法・高齢者の医療の確保に関する法律																														
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 市総合健診の専務作業 市民(30歳以上)に、健診の申し込みから受診までスムーズにできるように準備をする。① 総合健診申込書の送付・回収②健診(検診)受託機関への説明会③健診(検診)受託機関との契約④健診(検診)実施に向けての事前打合せ⑤受診券発送⑥会場準備⑦検診実施⑧来年に向けての方針、内容、日程協議、決定⑨来年度健診(検診)会場予約				事業費の主な内訳 (24年度 決算見込) <table border="1"> <tr> <th>項目(細節)</th> <th>金額(千円)</th> <th>項目(細節)</th> <th>金額(千円)</th> </tr> <tr> <td>その他賃金</td> <td>2,268</td> <td>通信運搬費</td> <td>3,708</td> </tr> <tr> <td>報償金</td> <td>1,050</td> <td>其他委託料</td> <td>286</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>51</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>印刷製本費</td> <td>625</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>医薬材料費</td> <td>60</td> <td>計</td> <td>8,051</td> </tr> </table>							項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)	その他賃金	2,268	通信運搬費	3,708	報償金	1,050	其他委託料	286	消耗品費	51			印刷製本費	625			医薬材料費	60	計	8,051
	項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)																															
	その他賃金	2,268	通信運搬費	3,708																															
	報償金	1,050	其他委託料	286																															
	消耗品費	51																																	
	印刷製本費	625																																	
	医薬材料費	60	計	8,051																															

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	
24年度活動実績	H24受診者：基本8,887人・胃3,142人・大腸6,589人・エコー8,273人・胸部11,098人・肝炎573人
25年度活動予定	受診者数が増加出来るよう、各種組織や事業を通じての機会教育及び啓蒙啓発をはかっていく。
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	
市民(30歳以上)	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていくのか、どのように変えるのか)	
市民がスムーズに健診(検診)を受診できるようにする。	
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
受診者数の増加 新規申し込みの増加	

⇒ ⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	
名称	単位
対象人口	人
イ	
ウ	
⇒ ⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	
名称	単位
申し込み延べ人数	人
イ	
ウ	
⇒ ⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	
名称	単位
一人当たりの平均受診時間	時間
イ 苦情の件数	件
ウ	
⇒ ⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	
名称	単位
のべ受診者数	人
イ	

(2) 事業費・指標の推移				単位	23年度 (決算・実績)	24年度 (決算見込・実績)	25年度 (予算・目標)	26年度 (次年度計画・目標)	27年度 (計画・目標)	28年度 (計画・目標)	最終 年度 (トータルコスト・目標)
年間 トータル コスト	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円							
			県支出金	千円	435	170	131	131	131	131	
			地方債	千円							
			その他	千円							
			一般財源	千円	7,189	7,881	8,754	8,754	8,754	8,754	
	人件費	事業費計 (A)		千円	7,624	8,051	8,885	8,885	8,885	8,885	0
		正規職員従事人数		人	8	8	8	8	8	8	
		延べ業務時間		時間	4,208	4,208	4,208	4,208	4,208	4,208	
		人件費計 (B)		千円	16,672	16,672	16,672	16,672	16,672	16,672	0
		(A)+(B)		千円	24,296	24,723	25,557	25,557	25,557	25,557	0
活動指標	活動指標		人		50,415.0	50,079.0	50,079.0	50,079.0	50,079.0	50,079.0	
	対象指標		人		73,147.0	74,000.0	74,000.0	74,000.0	74,000.0	74,000.0	
	成果指標		時間		1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	
	上位成果指標		人		10,333.0	10,503.0	10,700.0	10,900.0	11,100.0	11,100.0	

(3)この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか？	昭和57年に制定された老人保健法に沿って、市町村が事業実施を継続的に行っていた。健康増進法に変わり、がん検診及び肝炎ウイルス検査等の実施に重点がおかれている。がん対策基本法も山梨県で制度化され、受診健康増進法・がん対策基本法などに基づいた健診(検診)となっているため、受診者数を増やす工夫が必要。また、がんの罹患が増えているため、早期発見・早期治療に結びつけることで、医療費の抑制と市民のQOLが保た
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか？また、今後の予測は？	年齢や加入医療保険によって健診(検診)が受けられないこともあり、不満が聞かれることもある。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか？	

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は？	☒ 取り組みしている ⇒【内容↓】 ☐ 取り組みしていない⇒【理由↓】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	本市の透析はここ数年増加傾向にあり、透析移行にの状況を予防しまた、少しでも延長できるよう、ハイリスク時から疾患周知をはかり、予防事業に取り組みたい。特定健診及び特定保健指導により、糖尿病への意識は高まりつつあるが、透析前の慢性腎不全状態へのアプローチも必要となっている。
③ H 24年度に実施した改革改善の内容	今年度から基本健診に腎疾患を早期発見できる検査項目を増やした。

事務事業名	健診(検診)事業	所属部	保健福祉部	所属課	健康増進課
-------	----------	-----	-------	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由↓】 毎年、多くの市民が健診を受診しており、病気の早期発見につながり、健康管理に役立っている。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由↓】 健康増進法に基づいた事業であり、山梨県のがん対策推進計画アクションプランで実施が推奨されている。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 ☐ 民間・NPO ☐ 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 適切である ⇒【理由↓】 市民の健康づくりに役立っており、疾患の早期発見及び早期治療は、医療費にも影響が大きい。本事業は必要であり維持することが妥当である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☐ かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 向上余地がない ⇒【理由↓】 創意工夫により向上できると思われる。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることができるか？	☐ 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) ☐ 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 ☒ 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☒ 影響なし ☐ 休止・廃止ができる ☒ 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 ☒ 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 健診費用の自己負担の増大から、市民が健診の機会を設けず、疾患が悪化してから受診すると、医療費が増大したり市民のQOLが損なわれる。市民の健康管理に支障をきたすことになる。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 市公共施設での実施のため使用料は無料であり、健診委託料は削減できるものでないため、自己負担を増加させることの検討は必要となる。しかし、そのために受診率への影響も懸念される。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 医療機関に委託して集団健診を行っており、市職員は受付のみの最小限にしている。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由↓】 全世帯に受診機会があり、個人負担もあることから公平公正であるとする。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	総合健診事業のための経費が必要である。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可 ☐ 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 事業統合・連携(有効性⑤の結果) ☐ 公平性改善(公平性⑨の結果) ☐ 休止(目的妥当性①、②、③の結果) ☒ 成果向上(有効性④の結果) ☒ 現状維持(全評価項目で適切) ☐ 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)		(3) 改革・改善による方向性 <table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト水準</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果水準</th><th>向上</th><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr><tr><th>維持</th><td>☐</td><td>☒</td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td>☐</td><td></td><td></td></tr></table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要				コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☐	☐	維持	☐	☒		低下	☐		
		コスト水準																						
		削減	維持	増加																				
成果水準	向上	☐	☐	☐																				
	維持	☐	☒																					
	低下	☐																						
(2) 改革改善案について ① 市民への周知の方法の再検討により、受診率を向上させる。 ② ③																								
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 ① ② ③		(5) 事務事業優先度評価結果 <table><tr><td>成果優先度評価結果</td><td>①</td></tr><tr><td>コスト削減優先度評価結果</td><td>⑫</td></tr></table>		成果優先度評価結果	①	コスト削減優先度評価結果	⑫																	
成果優先度評価結果	①																							
コスト削減優先度評価結果	⑫																							